



坂戸市立坂戸小学校

令和8年7月17日発行 第4号

《学校教育目標》

「やさしく かしく たくましく」

文責 校長 谷口 義明

さかど

豊かな夏休みを

1学期間、皆様には教育活動にご理解・ご協力をいただきましてありがとうございました。進級して新しいクラスでの生活が始まり当初は緊張していた子供たちでしたが、自分を表現できる子供たちが増え、日々楽しそうに学習や運動に取り組んでいました。授業には集中して仲間と協力しながら問題を解く様子がいつも見られていました。

7月18日（土）から8月26日（水）までの40日間の夏休みが始まります。この時期にしかできないことに精一杯取り組む機会にさせていただけたらと思っています。

なお、閉庁日（8月10、12、13、14日）以外は毎日日直がおりますので、何か気になることがございましたらお気軽にご連絡ください。閉庁日期間の緊急の場合は市役所の学校教育課（049-281-1331 市役所代表電話）までご連絡ください。

1学期大変お世話になりました。2学期もまたよろしくお願いいたします。

体験活動のススメ

5月、6月と6年生児童と面談を行いました。子供たちの一番の思い出はほとんどの児童が5年生の時の宿泊学習や運動会、社会科見学と答えていました。日常と違う行事は何よりも心に残るようです。

県でも「埼玉の子供70万人体験活動」と称して、子供たちの体験活動を推進しています。

「都市化の進展や核家族化、少子化等により、地域社会における人間関係の希薄化が進む中で、子供たちは、多くの人や社会、自然などと直接ふれあう体験の機会が減少しています。子供たちには、思いやりの心や規範意識、学習意欲、目的意識、望ましい勤労観・職業観など豊かな人間性や社会性を育む体験活動が必要です。

そこで県では、すべての児童生徒が、在学中に自然体験、職業体

験、勤労生産体験、社会奉仕体験や世代間交流を行うなど、家庭・

地域・企業・NPOなどと連携して、発達段階に応じた様々な体験活動を推進しています。」（県HPより）

学校でも積極的に体験活動を今後も導入していきますが、ご家庭でもこの夏休み、可能な限り、非日常を味わう体験をしてもらえたらと願っています。心も体もよりよく成長した子供たちに2学期の始業式に会えることを楽しみにしています。

「学ぶ」とは・・・

ネットのAIモードで「学ぶ」ということを調べてみると・・・

自分自身が前とは違う人間に「変化する」ということです。ただ知識を頭に詰め込むだけではなく、新しい視点を得ることで、物事の見え方や行動、そして生き方そのものが豊かにアップデートされていく営みを指します。

まさにこの営みは学校での学習に適していると言えます。他者とかかわり、他者に影響を受け、いろいろなものの見方・感じ方・考え方を取得していく、この1学期は、どの学級でもまさにそんな授業を心掛けてきました。お子さんが学んだという成果は感じられたでしょうか。

夏休みは、他者とかかわりもちろんですが、「本」とのかかわりはお子さんの発達段階を考えると非常に重要です。それ以外にも人とかかわりや違う環境で過ごすことによる新たな視点等、豊かなかかわりをもとにした学び、成長を期待しています。

なお、夏休みの宿題もそのような観点から教材購入による基礎、基本的な学習課題は低学年のみといたしました。それぞれが苦手なことに挑戦することも大切ですが、得意なことをさらに伸ばす、好きなことにとことん没頭する、そんな夏休みにしていただけたら幸いです。

学習がなかなか進まないお子さんには、以下のような興味のあることからの学習も考えられます。

(一部の取組はニュース番組で報道されていました。)

- ・博物館の創作キットを組み立ててプログラミング学習を行う
- ・アイドルの歌の歌詞を書き出し、詩の創作力をつける、海外の曲の翻訳をする
- ・〇〇モンの属性を覚え相性を考えることで思考力を高める
- ・バトルゲームで残りHPの点数を数え、算数的思考を高める
- ・ゲームの攻略法をノートにまとめ国語力をつける

⇒ さらにAIを使えば、お子さんのはまっているものを学習にどう生かせばいいか、ヒントも出してくれます。活用してみてはいいかでしょうか。